



「hako」の事務局メンバー。(後列左から、藤本さん、中村さん、金田さん。前列左から谷志さん、大村さん)。活動への参加者は随時募集中

今月のみどころ

平成26年度 施政方針・予算

今年、大津町は何を見据えているのか？平成26年度の施政方針と予算をご紹介します

人事異動

役場の異動状況はこれで一目瞭然。教職員の異動や新規採用職員の見解も掲載

クローズアップ大津人

地域若者コミュニティ「hako」

今月の表紙

4月9日に大津南小学校で行われた入学式での一枚です。新1年生は自分の名前が呼ばれると、大きな声で返事をしていました。皆さん、入学おめでとうございます。



広報 おおづ 2014 5

発行・編集 ■大津町・総合政策課  
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地  
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

2100 印刷 ■ホーテ印刷株式会社  
※「広報おおづ」は環境に配慮して再生紙と大豆インクを使っています。

UD FONT 易やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

目指すは地域の活性化！



地域若者コミュニティ「hako」

JR 肥後大津駅前に事務所を構える地域若者コミュニティ「hako（ハコ）」では、5人の事務局メンバーを中心に活動を行っている。今回はそんな「hako」をクローズアップする。

地域若者コミュニティ「hako」ができたのは昨年10月。まちづくりへの強い思いを持つ20〜30代の若者が集まって立ち上げた。理念は、若者が集まれる場所と機会を作ること。誰でも好きな時に集まれる、雑談をするのも夢を語るのも相談を持ちかけるのも自由なコミュニティ、それが「hako」だ。

リーダーはおらず、参加者や事務局など、みんなが対等の立場にある。その活動は、毎月の清掃活動や人と人をつなぐための体験型講座、英会話カフェの運営、光尊寺での「年越し焼きそば」などの地域イベントの復活、町の活性化についてのディスカッションなど多岐にわたる。交流事業としてキャンプファイヤー&バーベキューなども実施しており、今後も地元の祭りへの参加など、さらに幅広い活動を行っていく予定だ。

何かをやりたいと思っても、1人ではなかなかできないことも多い。「hako」が大切に行っているのは、それができる仲間や場所を作ること。もちろん、事務局のメンバー同士でも考え方は少しずつ違う。真剣だからこそ、譲れないことや衝突することもある。しかし、「町を良くしたい」という強い思いは共通だ。人と人のつながりが希薄化した現代で、「つながりの創造」をして町の活性化を図りたいと話すメンバーたち。ここから大津の新しい「つながり」が生まれるのかもしれない。

つづきの声

▼広報担当も3年目に突入しました。今年度もどうぞよろしくお願ひします。ちなみに、今年度からこのスペースを一人で担当することになりました。頑張ります。▼3月から4月にかけてたくさんの方のイベントが開催され、私もいろいろな場所に行く機会がありました。イベントによっては、広い会場の中を一日中うろろろすることになるのですが、そういう時、日ごろの運動不足を痛感します。健康に関する話を聞いたり記事掲載したりすることもあるので、健康であることが大切さ分かっていきますし、健康のためには適度な運動が必要だということも知っています。しかし、なかなか実行に移せないうまま毎日過ぎていきます。なんとかしたいです。(—S)

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報  
おおづ

